

Title	一橋大学附属図書館研究開発室 室員名簿 / 活動一覧 / 研究開発室員 活動一覧 / 外部資金獲得状況
Author(s)	
Citation	一橋大学附属図書館研究開発室年報(4): 130-136
Issue Date	2016-06-30
Type	Others
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10086/28006
Right	

1. 一橋大学附属図書館研究開発室 室員名簿

	氏名	在任期間	所属	専門領域
室長	山部俊文	2014.12～	附属図書館長、社会科学古典資料センター長、法学研究科教授	社会法学、 民事法学
室員	夏目琢史	2014.8～	附属図書館助教	日本近世史
室員	福田名津子	2012.4～	附属図書館専門助手	西洋思想史
室員	床井啓太郎	2012.4～	社会科学古典資料センター専門助手	西洋近世史、 書誌学
室員	福島知己	2012.4～	社会科学古典資料センター専門助手	西洋思想史

2. 一橋大学附属図書館研究開発室 活動一覧

2.1. 企画実施

- ・ 企画展示「蔵書票の世界：モチーフから見る本間要一郎蔵書票コレクション」於図書館展示室、2015年10月30日～11月30日。
- ・ International Workshop: *Rare Materials, Digitization, and the Role of Curators*, at Hitotsubashi University Library, 12 February, 2016.

2.2. 資料整理および公開

- ・ 梅谷文夫名誉教授寄贈古典籍の整理（継続）
- ・ 研究者手稿類アーカイブの追加（左右田喜一郎・杉村広蔵関係資料）

2.3. 学内教育活動

- ・ 学部共通科目「学生生活の技法」計4回
- ・ 学芸員資格科目「博物館資料保存論」「博物館教育論」各1回
- ・ 図書館ガイダンス「レポートの書き方」「卒論の書き方」「修論の書き方」「剽窃防止ガイダンス」

2.4. その他

- ・ 福田徳三研究会事務局

3. 一橋大学附属図書館研究開発室員 活動一覧

夏目琢史助教

(1) 論文等

『近世の地方寺院と地域社会』（単著書）同成社、2015年11月。

『人物史 阿部猛』（共編著）日本史史料研究会、2016年3月。

「遠州湖北の「国衆」たちの歴史的意味」（展覧会図録への寄稿）『徳川家康 天下取りへの道 — 家康と遠江の「国衆」』、2015年11月。

「大正・昭和前期における「博学連携」について」『博物館学雑誌』40巻2号、133-146頁、133-146頁、2015年4月。

「横井時冬論」『一橋大学附属図書館研究開発室年報』第3号、3-12頁、2015年10月。

(2) 発表・報告・講師

「徳川家康と井伊直虎 — 躍動する遠江の国衆たち —」（平成27年度浜松市博物館特別展関連企画イベント）、細江町みをつくし文化センター、2015年11月7日。

「白柳秀湖 — 静岡が生んだ天才歴史作家の苦悩 —」（静岡県社会教育部会）、静岡県教育会館、2015年11月19日。

「コメント 戦後西洋史学をふりかえる」（第240回「歴史と人間」研究会シンポジウム）、一橋大学職員集会所、2015年12月19日。

「大名がくる村 — 遠江国井伊谷村の場合 —」（古地震研究会春合宿）、京都大学理学研究科セミナーハウス、2016年3月18日。

一橋大学社会学部講義「日本社会史総論」担当（平成27年度 夏学期 金曜2限）。

早稲田大学エクステンションセンター講師（平成27年度 秋）、講座名「明君像と徳川將軍家・江戸時代」

(3) 視察・調査・研修

深澤宏関係資料調査（東京都小平市）、2016年4月19日。

金原明善記念館調査（静岡県浜松市）、2016年5月24日。

(4) その他

「徳川四天王井伊直政とは何者か」（対談）、『NEWing』1795号、2015年6月。

「所蔵品解説 阿茶局像」『公益財団法人徳川記念財団会報』26号、2015年12月。

展示品解説、『徳川名宝展』講談社、2016年4月。

専門家派遣事業（浜松地域イノベーション推進機構）、歴史知識を活かした商品開発への
助言、（期間：平成27年11月～平成28年3月）
上廣倫理財団研究助成『『夢』と『遺言』から探る近世庶民の人生哲学』（期間：平成28
年2月～平成29年1月）

福田名津子専門助手

(1) 執筆

「商法講習所尾張町仮校舎「鯛味噌屋2階説」の再検証」『一橋大学附属図書館研究開発室
年報』第3号、3-12頁、2015年10月。

(2) 発表・報告・講演

「フルテキスト・データベース MOMW を用いた用法調査：－アダム・ファーガソンの商
業的アート概念」シンポジウム「デジタル資料の展開と古典研究の可能性に向けて：思
想／文芸／歴史研究と手法としての情報」（深貝保則、小嶋竜寿、玉田敦子、建石由佳）、
第37回日本18世紀学会全国大会、於東京大学、2015年6月20日。

“Adam Ferguson’s Concept of Commercial Arts and its Moral Aspects,” *Session Utility and
Sociability in 18th Century the East and the West (II)* with Shinichi Nagao, Takashi Sakamoto
and Kyoko Matsunami at the 14th International Congress for Eighteenth-Century Studies at the
Erasmus University Rotterdam, 31 July, 2015.

「古典研究（Ⅲ）思想史研究の方法：スコットランド啓蒙研究を例に」、第35回西洋社会
科学古典資料講習会、於一橋大学佐野書院、2015年11月20日。

「展示に求められる柔軟さ」実例報告「その展示、本を傷めていませんか？：保存と展示の
両立を考える」（加藤雅人、石橋圭一、松本和代、山口佳奈）、第26回保存フォーラム、
於国立国会図書館、2015年12月18日。

(3) 視察・調査・研修

兵庫教育大学教材文化資料館へ視察調査、2015年12月9日。

関西学院大学博物館へ視察調査、2015年12月10日。

ワークショップ「人文情報学と図書館」於東京大学、2015年9月4日。

第1回 SPARC Japan セミナー2015「学術情報のあり方：人社系の研究評価を中心に」於
国立情報学研究所、2015年9月30日。

国際シンポジウム「ハーティトラストとデジタルアーカイブの未来」於東京大学、2016年
1月25日。

シンポジウム「これからの学術デジタル・アーカイブ」於東京大学、2016年2月9日。

*The Workshop on the Promotion of Digital Humanities and the New Possibility of "Analogue"
Humanities*, at the National Institute of Informatics, 10 February, 2016.

*The Workshop in the Digital Humanities: Japan-Netherlands Relation, Old Photographs, and
Interactive Technology*, at Nagasaki University, 15 February, 2016.

国際シンポジウム「記憶、過去の(再)創造とデジタル人文学」於慶應義塾大学、2016年3
月15日。

(4) その他

Organiser/chairperson in the International Workshop: *Rare Materials, Digitization, and the Role of
Curators*, at Hitotsubashi University Library, 12 February, 2016.

床井啓太郎専門助手

(1) 執筆

「ある資料の遍歴ーゴロヴニン旧蔵『仏露辞書』ー」『図書館雑誌』109巻7号、446-447
頁、2015年7月。

(2) 発表・報告・講師

「西洋古典資料の目録作成」、第35回西洋社会科学古典資料講習会、於一橋大学佐野書
院、2015年11月20日。

“The Conservation of Western Historical Materials at the Center for Historical Social Science
Literature, Hitotsubashi University: Past, Present, and Future” at the International Workshop:
Rare Materials, Digitization, and the Role of Curators, at Hitotsubashi University Library, 12
February, 2016.

大東文化大学文学部講義「情報資源組織演習A」「情報サービス演習2」担当（平成27年
度 後期）

(3) 視察・調査・研修

一橋大学社会科学古典資料センター主催第16回西洋古典資料保存講習会を準備運営、
2015年7月1日～3日。

第9回資料保存シンポジウム「『後世に伝えるための資料保存とデジタルアーカイブー資料の保存と今後の展望ー』、於一橋大学一橋講堂、2015年10月5日。

第17回図書館総合展、於パシフィコ横浜、2015年11月10日。

一橋大学社会科学古典資料センター主催第35回西洋社会科学古典資料講習会を準備運営、2015年11月18日～20日。

日伊アーカイブズ研究会「トスカーナにおける洪水とアーカイブズの救出・復旧」、「東日本大震災/常総大洪水におけるアーカイブズの救出・復旧」、於国文学研究資料館、2015年12月9日。

第26回保存フォーラム「その展示、本を傷めていませんか？ー保存と展示の両立を考えるー」、於国立国会図書館、2015年12月18日。

東洋文庫アジア資料学研究シリーズ 2015年度コディコロジー研究特別報告会「東洋文庫所蔵本 紙質調査報告」、於東洋文庫、2016年1月26日。

「近代の資料を機械学習で読むーOCRと共同校正環境の実用化ー」、於国立国会図書館、2016年3月10日。

(4) その他

日本学術振興会平成27年度「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」事業「本を残す 本を伝える～書籍の保存と修復」（実施代表者：山崎耕一）実施分担者、2015年7月20日。

「博物館資料保存論」（一橋大学言語社会研究科 筒井弥生）社会科学古典資料センター見学実習担当、2015年6月23日。

福島知己専門助手

(1) 論文等

福島知己「シャルル・フーリエにおける旅行記的イメージの利用」、平子友長他編『危機に対峙する思考』梓出版社、334-351頁、2016年1月。

福島知己「R. A. Sayce「1530年-1800年に印刷された本の植字慣行と印刷地の特定」の検討(2)」、『一橋大学社会科学古典資料センター年報』35号、104-140頁、2016年3月。

福島知己「恋愛の常識と非常識～シャルル・フーリエの場合」、藤田尚志・宮野真生子編『愛・性・家族の哲学』1、ナカニシヤ出版、101-132頁、2016年3月。

(2) 発表・報告・講師

「シャルル・フーリエにおける恋愛について」(基盤研究(B)「ポスト3・11的危機からみる〈理性〉〈欲求〉〈市民社会〉の再審」研究会のための報告)、於立教大学、2015年9月12日。

「フーリエがどのようにしてフーリエになったか」(基盤研究(C)「近代フランスにおける社会構想の複数性と〈革命〉」研究会のための報告)、於上智大学、2015年9月26日。

「目録作成実習」、第35回西洋社会科学古典資料講習会、於一橋大学佐野書院、2015年11月20日。

(3) 視察・調査・研修

一橋大学社会科学古典資料センター主催第16回西洋古典資料保存講習会を準備運営、2015年7月1日～3日。

第17回図書館総合展フォーラム「学術情報流通の動向2015」、「大学図書館の現実的な未来像」、於パシフィコ横浜、2015年11月11日。

JEPA セミナー「ナショナルアーカイブ構想での国立国会図書館と出版界の役割～元国立国会図書館開発責任者が語る」、於研究社英語センター、2015年11月13日。

一橋大学社会科学古典資料センター主催第35回西洋社会科学古典資料講習会を準備運営、2015年11月18日～20日。

「教職員の組織的な研修等の共同利用拠点・ALPS プログラムキックオフシンポジウム～教育・学修支援専門職の確立に向けて」、於千葉大学アカデミック・リンクセンター、2015年12月7日。

フランス国立公文書館(パリ郊外ピエフィット・シュル・セーヌ)、ローヌ県・リヨン都市圏公文書館(リヨン)にて資料調査、2016年2月4日～12日。

(4) その他

日本学術振興会平成27年度「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」事業「本を残す 本を伝える～書籍の保存と修復」(実施代表者:山崎耕一)実施分担者、2015年7月20日。

福田徳三研究会編『福田徳三著作集第10巻 社会政策と階級闘争』信山社、2015年10月、編集協力者。

福田徳三研究会編『福田徳三著作集第17巻 復興経済の原理及若干問題』信山社、2016年2月、編集協力者。

4. 外部資金獲得状況

平成27年度公益財団法人図書館振興財団「研究者手稿類デジタルアーカイブの作成」
国文学研究資料館・慶應義塾図書館合同プロジェクト「古典籍画像を対象としたメタデータ記述／アノテーションに関する研究」（幸田文庫の電子化）